

事業名 平成 30 年度福島県県内避難者・帰還者心の復興事業

「生活に彩りと癒しプロジェクト&いいたて交流カフェ」

「ポーセラーツでマグカップを作る」実施報告

日時 平成 30 年 9 月 30 日（土） 9 時 30 分～12 時

場所 福島市吉井田学習センター 和室

講師 Ma priere 主宰 齊藤 真紀さん

主催 一般社団法人いいたてネットワーク

参加者 村民 8 名、講師 1 名、職員 2 名 計 11 名

今年度最初の講習会は「マグカップ」作り。

代表挨拶のあと講師の齊藤真紀さんに自己紹介していただき説明を聞きます。



ポーセラーツとは真っ白な磁器をキャンバスにして好みの色や柄の転写紙を貼ったり、上絵の具やセラミックマーカーで着色したりして、世界にたった 1 つしかないテーブルウェアを作る実用性が高いハンドクラフトです。



まず専用クリーナーを含ませティッシュで磁器の表面を拭きます。汚れや油分が残っていると仕上がりが悪くなるのでしっかり丁寧に拭きます。



次に自分好みの色や柄の転写紙を選びます。



予め考えていた通りに転写紙をはさみで切り取り、貼り付ける絵柄を用意します。



絵柄を切り取ったら、水に浸します。



しばらくするとシール部分と台紙部分がはがれてくるので、シール部分のみを磁器に貼ります。貼りたい場所に転写紙を置き、指で押さえながら台紙をスライドさせて抜き取ります。



配置が決まったら、気泡をワイプアウトツールでしっかり抜きます。気泡があると焼成の時に気泡が膨張し転写紙が破れてしまうことがあるのでしっかりと除きます。





水分がなくなると転写紙貼れて動かなくなります。



色合いや配置を考えながら貼っていきます。



出来上がった作品は先生に電気炉で焼成してもらいます。約 800℃で焼成し出来上がるまでには8時間ほどかかるそうです。



今回参加者全員がポーセラーツは初めてという方ばかりでした。同じ絵柄の転写紙を使ってもデザインや配置で違うものになってしまう自分だけのオリジナル作品が完成しました。お互いの作品を見せ合い、次は皿やポットなども作ってみたいと大好評でした。出来上がりが楽しみです。今回お世話になった齊藤先生、楽しい時間をありがとうございました。

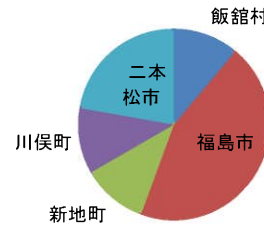
■ あなたについて

1 震災発生時の住所

飯舘村	7	77.8%
飯舘村以外	2	22.2%

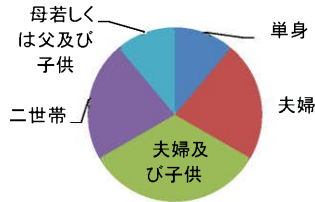
2 現在の住所

飯舘村	1	11.1%
福島市	4	44.4%
新地町	1	11.1%
川俣町	1	11.1%
二本松市	2	22.2%



3 世帯の状況

単身	1	11.1%
夫婦	2	22.2%
夫婦及び子供	3	33.3%
二世帯	2	22.2%
母若しくは父及び子供	1	11.1%

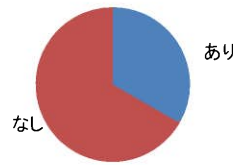


4 避難生活または帰還後の生活で困っていること

あり	3	33.3%
なし	6	66.7%

「あり」の方

- ・ポストがない
- ・通勤時間が長くなってしまった
- ・帰村したが買い物ができない
- ・人と関わる機会がない（友達・隣近所）



■ 事業内容について

1 事業の内容は有意義だったか

とても有意義だった	9	100%
-----------	---	------

- 理由
- ・夢中で時間を忘れることが出来た
 - ・無心になれてとても良かった
 - ・誰でも出来るので楽しかった 安心して出来た
 - ・みんなと会えた 笑顔から元気をもらえた
 - ・普段体験出来ない事が出来て良かった
 - ・自分で考えたデザインでマグカップを作る事が出来て良かった
 - ・初めての体験だったがとても楽しかった あっという間に時がたってしまった

2 つながりや生きがいを持つ為に役立ったか

とても役にたった	9	100%
----------	---	------

- 理由
- ・自分で大切に使用出来る
 - ・趣味が広がった
 - ・またチャレンジしてみたい
 - ・久しぶりに知っている方と会えた
 - ・みんな久しぶりに楽しく素敵な作品を作る事が出来て良かった

3 今後やってみたい事はなにか

- ・ローソク作り
- ・石鹸作り
- ・アロマテラピー アロマオイル作り
- ・もう一度ポーセラーツがしたい（皿やティーカップ等）
- ・ちぎり絵
- ・革工芸
- ・多肉植物の寄せ植え

■ 「いいたて交流カフェ」をアオウゼで開催するがどのような内容、雰囲気、しくみ等があれば参加しやすいか

- ・まずは周知。サークル、婦人会の集まりにも使えるといいと思う
- ・ランチしながらの簡単な料理教室などの開催
- ・いろいろなテーマを決めやりたい事を取り入れる
- ・企画を募集して運営の手伝いを求める
- ・口コミで広げてもらう まずは参加してもらう